

# 田尻だより

平成 19 年

4月 号

Vol. 49

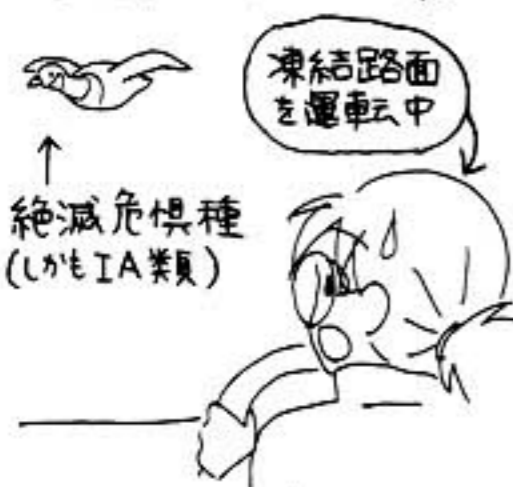
次回の田尻便りは  
5月発行予定!

暖冬の冬と思いきや、3月半ばにして雪が降り

りました。この冬一番の大雪です。その後の陽気ですぐに雪は溶けてしまいましたが、これだけでいくらか山に積雪ができただろうと胸をなでおろしています。

その反面、年々予想がつかなくなる異常気象に不安がつのります。

シジュウカラガンの出会い(あつという向)



絶滅危惧種 (しかもIA類)

ちなみに、仙台市の八木山動物園では、シジュウカラガンの繁殖に成功(いつても見れる)。

「シジュウカラガン」

少し前の話になりま

すが、今年の一月に、

飛んでいるシジュウカラ

ガンを見かけました。

シジュウカラガンは

シベリアとアラスカの

間のアリュートシヤン列

島から渡ってくる雁で

したが、毛皮目的で業

者が島々にキツネを放

獣したため、一時は

絶滅したと考えられて

いました。現在、日本

に渡って来るのは数羽

のみと言われています。

そんなシジュウカラガンですが、動物園に行けば見ることが出来ます。都内では上野動物園や多摩動物公園などで見られるとのこと。

そういうえば、上野動物園のふれあい広場で、

サカツラガンに触れる

のかと驚いたことがあ

ります。実際はサカツ

ラガンを家禽化したシ

ナガチヨウだったので

すが、その時の複雑な

気持ちには、今でも忘れ

られません。

まやか

サカツラガン!

でもどうも

アヒル

コブがあるし



シナガチヨウとサカツラガンは、学名も同じ (4月で3才)

## 米 曆 ~こめごよみ~

- 3月10日 種もみを酵母液に浸しました。
- 13日~ 種もみを浸水しました。
- 24日 プール育苗の現地検討会をしました。
- 31日 育苗ハウスの補修をしました。

いよいよ今年の米作りが始まりました。浸水によって種の中の発芽抑制物質が溶け出し、種が目覚まし始めます。

## 嫁日記

4月、それは年度の始まり。うちのさくらもあひる組からペンぎん組へ進級します。最終日にもらった1年間の身体測定の履歴や芸術作品の数々を見ると、大きくなったなあ…なんてしみじみ。

\*\*\*

一方、新年度の準備に追われる母親たち。次のクラス

ではお道具箱や粘土箱など用品が一気に増え、クレパスの1本1本までひたすら名前を書き続けます。そして、真骨頂は絵本かばんの準備。

\*\*\*

やはりかわいい娘には手作りであろうと、ほとんど自分の趣味でのかばん作り。親子で一緒に作ったかばんはとても気に入ったようで、早速絵本を詰めていました。